



羅針盤

伊豆市立中伊豆中学校
進路だより 第2号
H31.4.19発行
進路担当 山崎

【3年生へ：第1回進路希望調査】重要!!

今年度になって2週間ほどが経ちました。授業や宿題もようやく始まったばかりで、まだまだ「3年生」という実感がなく、だらだらと過ごしていませんか？でも、時間の経つのは早いですよ。あっという間に進路を決定する大切な時期が近づいてきます。

そこで、第1回進路希望調査を実施します。今の時点で、中学校卒業後の進路をどうするのか、しっかり考えましょう。就職か進学か、進学だったらどの高校を希望するのか、保護者の方とここで話し合う時間を取ってください。「まだ何も考えてない！分からない！」という人がいるかもしれません。だからこそ、この時期に進路の方向性を家族で考えてほしいのです。

調査用紙は、別紙にて配布します。4月25日(木)までに、担任の先生に提出してください。

進路希望調査提出しめ切り 4月25日(木) 提出期限を守る習慣を身に付けよう!

※裏面に、「三島・田方地区の高校一覧」を載せました。進路希望調査の参考にしてください。

【中間テスト!!】

今年は、4月末から5月上旬にかけて10連休がありますね。また、3年生は修学旅行、2年生は職場体験、1年生は海の学習、というように様々な行事や総合的な学習が行われます。また、部活動も多く大会・練習試合があり、3年生は最後の夏の中体連大会に向けて一生懸命がんばっていると思います。

でも！5月10日(金)には、中間テストがあるのです。中学校の成績は、以前(20年ほど前)と比べて授業への意欲的な取り組みや課題の提出など、テスト以外でのがんばりも評価されるようになってきましたが、やはり中間や期末テストは大きなウェイトを占めていると言ってよいでしょう。行事や部活動に追われて勉強がおろそかになってはだめ、今すぐ行動に移しましょう。



①テスト勉強の計画を立てる

教科書・ワークなどの範囲を確認し、テスト期間に復習し終わるように計画しましょう。

②何度も声に出して読む・何度も字を書く

繰り返し声に出して読むことで、自分の頭の中に言葉が定着します。また、見ただけですぐに忘れます。必ず書いて覚えましょう。

③答え合わせで終わらない・間違えた問題を解き直す

答え合わせは、自分の理解していることと分かっていないことをはっきりさせるために行います。間違えた問題は、必ず調べ直したり先生に質問したりした後、もう一度解きましょう。

【進路を考えるって?】

私の同級生にとっても考えた進路選択をした友達があります。彼は中学の頃から、動物病院や畜産試験場などに就職して、動物と関わる仕事をしたいと考えていました。そのためには、獣医学部のある大学に行く必要があります。でも、彼の選んだ高校は普通科ではなく、田方農業高校畜産科(現在の動物科学科)。獣医学部の大学は普通科高校でも進学するのはかなり難しいのですが、彼は田方農で実践的知識を学びながら推薦入学で希望する大学に合格、獣医師の資格を取って現在函南で動物病院を開業しています。このように、夢の実現は一本道ではなく、様々な経路があるのです。

①高校進学か？就職か？

将来の夢、なりたい職業がある場合、どのような進路を選ぶ必要があるのか考えましょう。弁護士や医師、教員などは国家試験や採用試験に合格する必要があるため、大学や大学院に進むことが必要です。希望する会社に入るためには大学卒業の資格が必要になるかも知れません。工業高校

や専門学校で技能を学び、資格試験に合格することが条件になるかも知れません。専門的知識があったほうが給与などの待遇がよいということもあります。普通科の高校から大学や専門学校に行くのか、工業系、農業系の高校から専門的知識を生かした就職先や進学先を見つけていくのか、しっかり考えてください。将来の夢がはっきりしなくても、自分の興味関心、特性に合わせて進学先を考えましょう。

○勉強からの逃げ道として就職を選ぶのは大きな間違い！

「勉強するのが嫌だから就職（アルバイト）する」という人がときどきいます。しかし、結論から言えば、『**高校進学よりも、就職先を探すほうが難しい**』のが現状です。高校、大学を卒業しても希望する就職先を見つけることができない時代です。専門的知識がなく、努力することが嫌いな人間を雇ってくれる会社はありません。中学卒業で就職する場合、縁故就職（親戚や知人の会社に就職すること）がほとんどです。

また、『**高校で勉強するよりも、就職して仕事を続けるほうが大変**』です。就職できたとしても、見習いや研修のような立場で給与は低く、技能を高めるために仕事以外の時間に資格を取る勉強をしたり、専門学校に通ったりしてスキルアップを目指していかなければなりません。

もちろん今まで教えた生徒の中には、父親の職業を継ぐために高校には行かず大工や左官職人、漁師や農家などの道に進んだ人もいます。しかし、彼らは真剣に進路を考えた上で就職を選びました。逃げるのではなく、目標を持って困難に向かっていく強さのある人が就職を選べるのです。

② 全日制と定時制、通信制

全日制…中学同様、朝8時30分頃に登校し、1日6～7時間程度の授業を行います。

定時制…夜間、または午前や午後に学習時間を絞り、通常4年で卒業する学校です。仕事をしながら高校に通う人のための学校です。三島長陵高校や沼津工業高校定時制などがあります。

通信制…通信を利用した自宅学習や、スクーリング（期間を決めて実際に高校に行って授業を受けたり試験を受けたりすること）によって学習していきます。公立高校では、静岡中央高校があります。私立高校の通信制もあります。

○定時制や通信制の厳しさ

受験勉強したくないから、合格の可能性だけしか考えずに定時制や通信制を選ぶ人が出てきます。しかし、定時制や通信制は、自分に甘い人には向いていません。仕事・アルバイトと高校の学習を両立させるということは、全日制の高校生の2倍の体力、気力が必要ということです。さらに通信制は、何をいつ勉強するのか、すべてを自分が考えなければなりません。4年で卒業するためには、自分に厳しくなければなりません。

③ 公立か？私立か？

公立高校…県や市が設置した高校です。三島・田方地区の多くは普通科ですが、韮山高に理数科、田方農に農業系5学科、伊豆総合高に工業科と総合学科があります。

私立高校…学校法人が設置した高校です。沼津・三島地区には8校あります。多くが普通科の高校ですが、同じ普通科という名称でも**それぞれの学校で特色あるコースを設定し、進学・特進コースはもちろん、福祉介護系、情報ビジネス系、芸術デザイン系、スポーツ系など力を入れている分野が異なります。**

○私立高校普通科のコース、特待制度について

多くの私立高校は、特進クラスなどを設置し、大学進学に力を入れてきています。学校案内などで確認すると、公立の普通科高校からでも入学が難しい大学に合格者を出していることが分かります。また、日大三島のように、高校での成績によって日本大学の様々な学部にも多くの生徒が進学していることもあります。高校3年間は確かに高い学費を払いますが、大学進学を考えている場合は、私立高校の特進クラスなどに進学することも一つの道だと思います。さらに、私立高校では、成績優秀者やスポーツ優秀者に対して特待制度を設けている学校があります。授業料などが全額または半額免除されるので、かなり負担が軽減されます。（制度や認定基準は、高校ごとに異なります。）以上のことを踏まえながら、私立高校の併願・単願を考えてください。

公立・私立にかかわらず、保護者の所得（納税額）に応じて就学支援制度があります。年度によって変更がありますので、詳しくは別の機会にお知らせします。